

ほくたん^{だよ}便り

No.11

2011（平成23年）
6月発行

■編集／発行：北但行政事務組合
■組合構成市町：豊岡市・香美町・新温泉町



寺嶋委員長から報告を受ける中貝管理者

啓発機能・施設周辺整備のあり方
などの検討結果を管理者に報告



第10回開催状況（H23.3.30）

※広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会

現在整備を進めている熱回収施設及びリサイクルセンターを主体とした広域ごみ・汚泥処理施設の啓発機能（情報提供・学習の場、修理・再生の場など）等の整備計画や施設周辺整備のあり方等について検討するため、平成21年12月に設置されました。委員は学識経験者、地元選出者等の13名で構成され、この委員会で検討していただいた結果を施設整備に反映していくことにより、循環型社会の実現に向けて、先進的な環境創造の取組みについても考慮した施設の建設を目指します。



第9回開催状況（H23.1.25）

北但行政事務組合とは

広域ごみ・汚泥処理施設の設置及び維持管理並びに広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して処理するため、豊岡市、香美町、新温泉町の北但1市2町で組織する一部事務組合です。
1市2町人口 125,979人（H23.5.1現在）



「ほくたん便り」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

広域ごみ・汚泥処理施設整備
 検討結果の報告を受けました
 検討委員会より

広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会は、平成21年12月に設置されて以来、平成23年3月までに10回の委員会が開催されました。

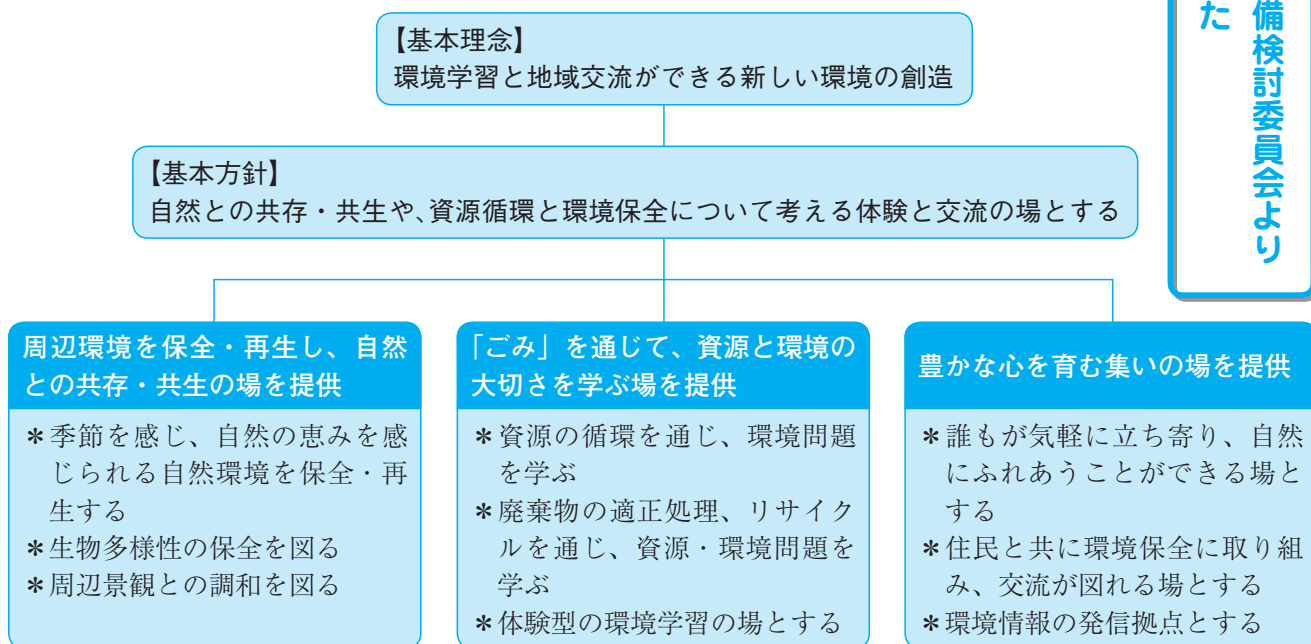
委員会では、先進地視察研修や現地確認等も行うなど様々な視点から、新施設が建設される竹野町森本区並びに坊岡区にある豊かな自然を活かした環境拠点となる整備を旨とし活発な議論が行われました。

去る平成23年3月30日に開催された第10回委員会において報告書の取りまとめを行い、委員長から組合管理者に検討結果の報告をいただきました。

組合では、この報告書の内容を最大限尊重し、北但ごみ処理施設の整備に反映してまいります。

なお、報告書の概要版は北但行政事務組合のホームページに掲載しております。

【基本理念・基本方針の体系図】



【啓発機能等施設の整備計画】

資源循環型社会の形成に向けた情報発信基地として、啓発機能等施設が備えるべき機能としては、以下の4つの機能が必要と考えられる。

また、実際の整備にあたっては、構成市町の財政状況及び地元地区の意向を考慮し整備することが望ましい。

中古品・不用品の修理・再生の場としての機能

多目的に利用できる工房（学習の場と兼用）を整備することにより、より多くの方が利用しやすい環境を整備することが望ましい。

再生品の展示・提供の場としての機能

専用の場を設けるのではなく、再生品等の展示は、廊下、ロビー、リサイクル体験コーナー及び会議室を活用することとする。

環境・資源やリサイクルに関する情報提供・学習の場としての機能

子どもから大人まで幅広く学ぶことができる工夫が必要となるため、視覚に訴えるものや実際に体験ができる機材等の設置も考慮することが望ましい。

集会・イベント等の地域活動・コミュニティ形成支援の場としての機能

多数の来場者の駐車場を確保することが困難と思われるため、小規模な講演会・イベント及び会議に必要な整備を行う。

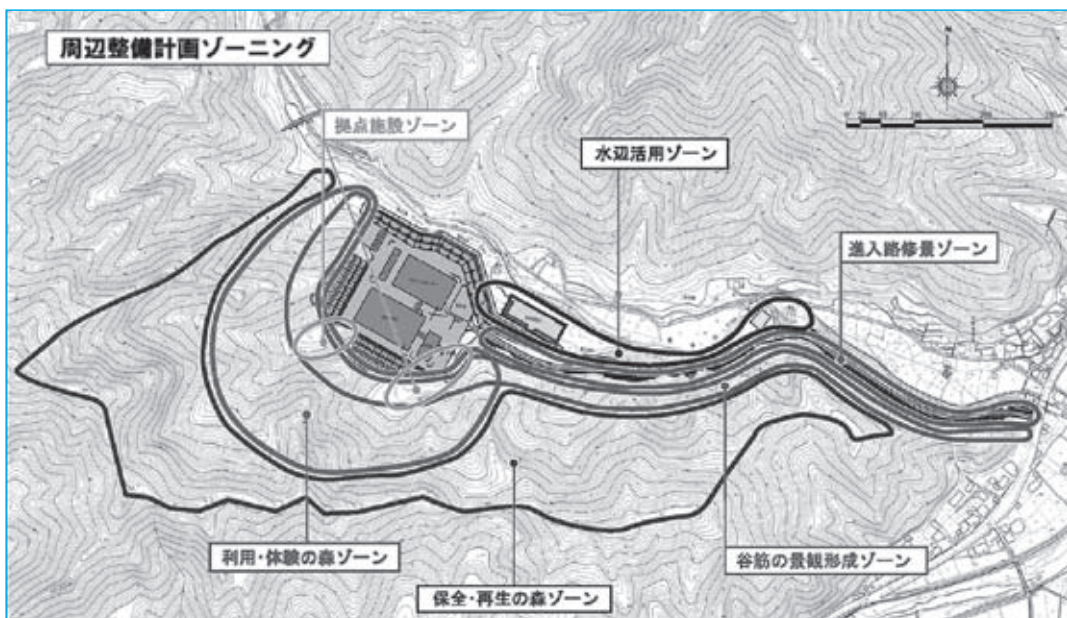
【施設周辺整備計画】

施設の周辺整備については、以下の6つのゾーンに分け、それぞれのテーマに基づきつつ一体的に整備することが望ましい。

なお、この場所に来れば、四季を通して自然に触れることができ、環境学習や人々の交流拠点となるような場づくりを行うこととするが、木谷川や竹野川流域に生育しないような樹木を移植、移入することは本来の自然を壊すこととなるため、そこにある自然に配慮した景観づくりとすること。

- ・周辺整備計画では、計画地全体の環境を『保全・再生』する中で、様々な『利用・運用』の場の創出が求められる。
- ・そのために、計画的な『整備・管理』が必要となる。
- ・計画地で対応が考えられる事項を整理し、それぞれの整備方針を設定する。

保全・再生	豊かな自然（生物の多様性）の保全	・現況の自然環境を保全する活動	・野生動植物との共存	
	里山の再生	・荒廃した森林の再生活動	・里山づくりの活動	
	景観との調和	・景観と調和した森づくり、施設づくり		
利用・運用	身近な自然とのふれあい	・地域住民の日常的な散策	・森林浴	
	環境学習・体験	・自然、森林、里山などについて	・資源循環、資源再生などについて	
	健康づくり	・散策、森林浴		
	憩いと交流	・人々の集いと賑わい		
	レクリエーション	・遊び場、森林レクリエーション		
	施設や環境教育の普及・啓発	・施設の見学	・処理施設のPRとイメージアップ	
整備・管理	森のゾーン分け（森の管理区分）	・保全、利用、活用などの整備方針によるゾーニング設定 例）野鳥の森、広葉樹の森等		
	体験学習の拠点施設整備	・学習広場	・便益棟（管理棟）	
	体験学習のフィールド整備	・里山づくり体験の森	・林間の遊び場	・ビオトープ池
	散策路、広場、休憩所、展望所の整備	・森林の周遊散策	・休憩広場	・展望広場
	集いやイベントの空間・広場	・多目的広場	・芝生広場	
	修景植栽	・花木園等		



ゾーン	ゾーン概要
進入路修景ゾーン	進入道路沿いの良好な景観形成のために沿道修景を行うゾーン
水辺活用ゾーン	木谷川流域を活用した親水空間
谷筋の景観形成ゾーン	開発敷地外周部について、周辺景観（周辺環境）との調和を図り、谷筋の景観づくりを行うゾーン
拠点施設ゾーン	処理施設と連携した施設整備を行う区域（処理施設配置の造成盤と連続した敷地が整備できる区域）
利用・体験の森ゾーン	森林を活用した学習や体験など、多様な利用に対応するゾーン
保全・再生の森ゾーン	現況の豊かな自然環境を保全するとともに、荒廃した森林を再生するゾーン

本委員会の検討結果は、施設周辺整備計画のとおり取りまとめられたが、実際の整備にあたっては、周辺整備計画ゾーニングの具体例（報告書及び概要版に掲載）を基に、用地の取得状況に応じ柔軟に対応するとともに、構成市町の財政状況及び地元地区の意向を考慮して整備することが望ましい。

用地取得促進関連事業費予算を計上!!

5月30日開催の第79回組合臨時会において関連予算を上程し、可決されました。

施設整備に最低限必要な都市計画決定区域8.8haの平成24年度上半期中での用地取得を目指し、土地収用制度の活用も視野に入れた準備作業に入ります。

歳入 (千円)

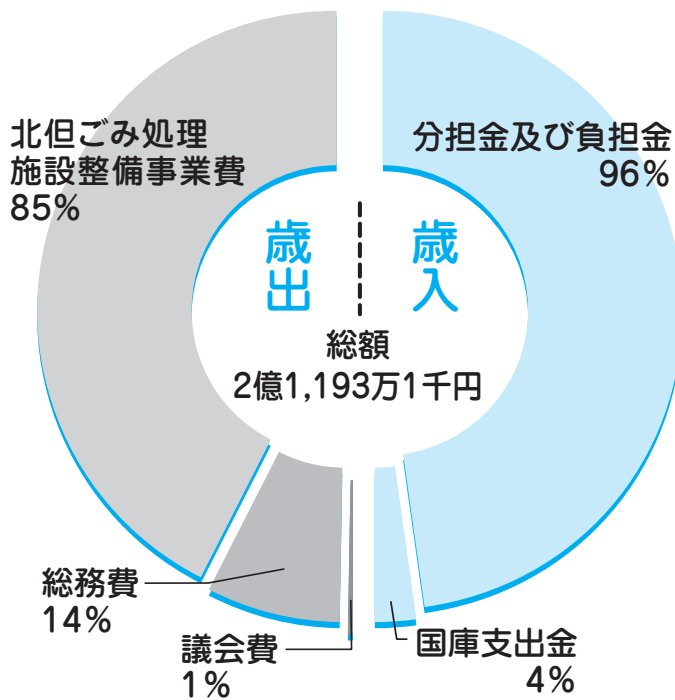
分担金及び負担金	204,481
使用料及び手数料	1
国庫支出金	7,446
繰越金	1
諸収入	2

歳出 (千円)

議会費	2,002
総務費	30,002
北但ごみ処理施設整備事業費	179,577
公債費	50
予備費	300

負担金のうち各市町割合 (千円)

豊岡市	131,250	64.2%
香美町	39,310	19.2%
新温泉町	33,921	16.6%
計	204,481	100.0%



◎平成23年度予算について(※補正予算を含む)
平成23年度の組合一般会計予算額は、歳入歳出それぞれ2億1,193万1千円で、そのうち、北但ごみ処理施設整備事業費は、1億7,957万7千円となっています。主な事業計画の内容をご紹介します。

◆平成23年度 北但ごみ処理施設整備事業 主な事業計画

※H23年度より、事業名が北但ごみ処理施設整備事業(旧:広域ごみ・污泥処理施設整備事業)に変わりました。

項目	計画内容等
進入道路・敷地造成事業 L≒860m (H23年度施工予定内容 仮設道路工:L=280m) A≒2.6ha	進入道路及び敷地造成工事を行うための仮設道路を設置します。 (平成23年度~平成26年度)
DBO事業者選定アドバイザー業務	本事業は公設民営(DBO)方式で行うための事業者の募集、事業者の選定及び事業者との契約締結までの総合的な支援等を受けます。 (平成23年度~平成25年度)
埋蔵文化財調査業務 A=3,000㎡	平成22年度に引続き、敷地造成及び進入道路の建設地において、埋蔵文化財の発掘調査を行います。
用地取得・補償事業 A≒2.9ha	事業用地の買収及び立木等の補償を行います。
用地取得促進関連事業	土地収用制度の活用も視野に入れた準備作業を行います。
用地境界杭設置業務 A=26ha	事業用地の管理のため、用地外周(官民境界)に境界杭の設置を行います。
地元協議・説明会・学習会・先進地視察等	地元検討委員会に事業進捗に係る諸課題を検討願うほか、該当区及び周辺地区住民の皆さんを対象に、説明会や学習会等を開催し、更なる理解、協力をいただくよう努めます。
組合広報紙・ホームページ作成・運営業務	広報紙「ほくたん便り」の発行やホームページを適時更新することにより、事業の経過、取組み、必要性等についてPRし、住民のみなさんに理解を深めていただきます。

☆第16回候補地選定委員会が開催されました

平成23年3月4日に開催され、今後の委員会のあり方について協議いただきました。

その結果、都市計画決定により公的に施設位置が認められる方向となったことにより、所掌事務についてはその役目を終えたとの判断のもと、候補地選定委員会はこの第16回をもって終了、解散することとなりました。

委員の皆様には、第1回（H19.11.21開催）から3年余りの長きに渡り、候補地選定及びその後の対応等についてご尽力いただきましたことに深く感謝申し上げます。



第16回候補地選定委員会（H23.3.4）



謝辞を述べる中貝管理者

組合議員のご紹介（平成23年5月30日現在）

5月20日に香美町議会臨時会が開催され、北但行政事務組合選出議員の改選がありました。

（敬称略）

議長	おかやくにひと	岡谷邦人	（豊岡市議会）	
副議長	もりとしあき	森利秋	（香美町議会）	
監査委員	ますだかつとよ	升田勝義	（豊岡市議会）	
議員	あいかわとしあき	安治川敏明	（豊岡市議会）	
	いとうじ	伊藤仁	（豊岡市議会）	
	いのうえまさはる	井上正治	（豊岡市議会）	
	うえだたかひろ	植田隆博	（香美町議会）	
	かんぬきくにお	関貫久仁郎	（豊岡市議会）	
	しまづきひろゆき	嶋崎宏之	（豊岡市議会）	
	たにぐちいさお	谷口功	（新温泉町議会）	
	たのてつお	田野哲夫	（香美町議会）	
	にしわきあきら	西脇明	（新温泉町議会）	
	◎のぐちいつとし	野口逸敏	（豊岡市議会）	
	みねたかまさゆき	峰高まさ行	（豊岡市議会）	
	○みやわきとしい	宮脇諭	（新温泉町議会）	
		もりたすす	森田進	（豊岡市議会）

◎議会運営委員長、○同副委員長

◇第78回組合定例会

（平成23年2月14日～21日）

土地取得、補正予算、23年度予算等を可決
管理者提出議案として事件決議2件、条例2件、
予算2件を提案し、原案のとおり可決されました。

◇第79回組合臨時会

（平成23年5月30日）

土地取得、補正予算等を可決
管理者提出議案として報告1件、事件決議1件、
予算1件を提案し、原案のとおり可決されました。



香美町議会会議場にて開催（第78回組合定例会）

◇用地買収等の状況

第78回組合定例会及び第79回組合臨時会において土地取得議案を上程し、賛成多数により原案どおり可決されました。これにより施設整備用地の約89%（「北但ごみ処理施設」の都市計画区域8.8haでは約90%）を取得しました。また、現在取得には至っていないものの、地権者の方の内諾等を得ているものを合わせますと、約98%（都市計画区域8.8haでは99.7%）の用地について確保できる見込みです。

北但行政事務組合競争入札参加資格審査申請(指名願い) **臨時受付**のお知らせ

組合が発注する建設工事、測量・建設等コンサルタント業務、物品製造等の入札に参加を希望する業者の方は、入札参加資格審査申請書(指名願い)の提出が必要となりますので、所定の申請書を提出ください。有効期限は平成24年3月31日までとなります。

なお、指名願いは平成22~23年度の2ヶ年有効なため、すでに登録を済ませられている業者の方は申請の必要はありません。

審査の結果、入札参加資格を有すると認めた場合は、北但行政事務組合入札参加資格者名簿に記載しますが、これによって必ず入札の参加が約束されるものではありません。

■**受付期間** 6月10日(金)~7月8日(金) 必着(郵送可)

※詳細は、提出要領に従ってください。

※提出要領・申請書様式は北但行政事務組合ホームページからダウンロードできます。
(北但行政事務組合の窓口でも配布しています。)

■**ホームページアドレス** <http://www.hokutan.jp/>

■**問い合わせ・提出先**

豊岡市上陰178番地の1 北但行政事務組合 施設整備課 総務係 TEL0796-24-5504

平成22年度情報公開状況について
当組合に対し請求のありました情報公開の状況は、開示請求18件(2人)で、その処理状況は、開示2件、部分開示13件、不開示3件となっています。(詳細はホームページをご覧ください。)

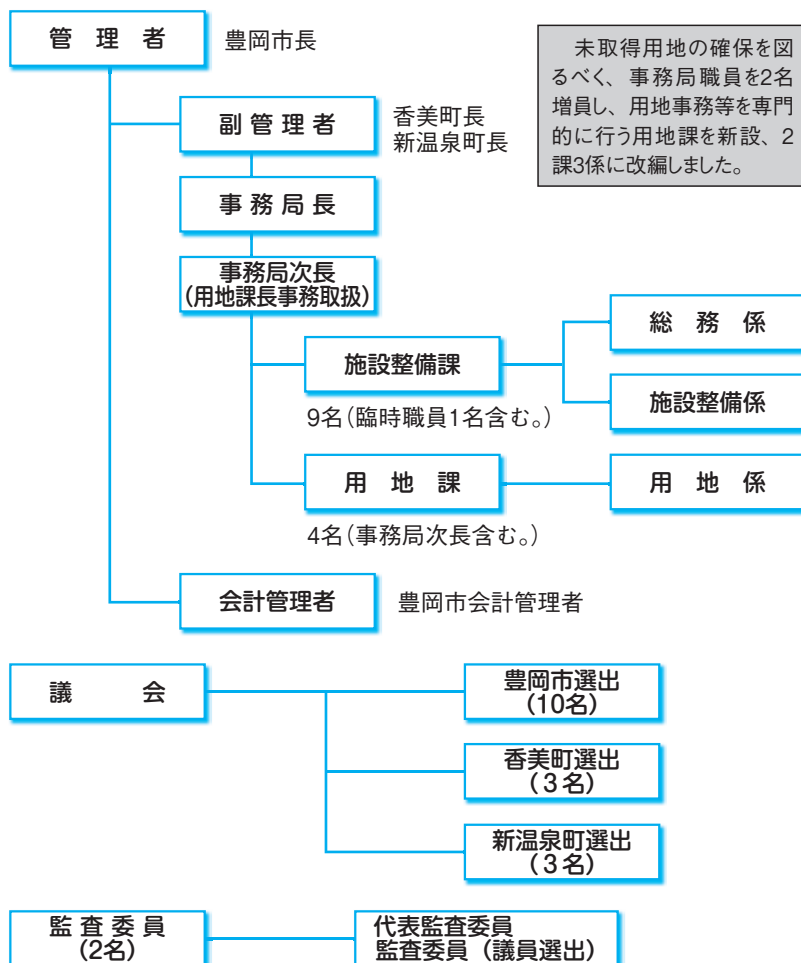
ホームページを開設しています

北但行政事務組合では、ホームページを開設し、これまでの取り組みや協議内容などを公開しています。下記のURL(ホームページアドレス)をご覧ください。
URL <http://www.hokutan.jp/>



北但行政事務組合組織図

平成23年4月1日 現在



未取得用地の確保を図るべく、事務局職員を2名増員し、用地事務等を専門的に行う用地課を新設、2課3係に改編しました。